

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2024年 06月 05日

静岡県知事殿

提出者

住所 愛知県刈谷市昭和町1丁目1

氏名 株式会社デンソー

代表取締役社長 林 新之助

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0566 - 25 - 5511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社デンソー 湖西製作所		
事業場の所在地	静岡県	湖西	市 梅田390番地
計画期間	2024/4/1 ~ 2025/3/31		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	電気機械器具製造業		
② 事業の規模	1,875億円		
③ 従業員数	3,491人		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	【汚泥】混練⇒焼却⇒セメント原料 天日乾燥⇒焼却⇒路盤材 焼却、溶融⇒路盤材 【廃油】油水分離⇒エマルジョン燃料焼却⇒路盤材 【廃アルカリ】中和⇒焼成⇒路盤材 【廃酸】中和⇒焼成⇒路盤材 【廃プラスチック】焼却⇒路盤材、セメント原材料溶融⇒路盤材⇒固形燃料製造、押出成形、圧縮固化⇒固形燃料⇒混練⇒焼却⇒セメント材料 【木くず】破碎⇒原材料、燃料 【ガラス・陶磁器類】溶融⇒路盤材破碎⇒焼成⇒路盤材⇒破碎⇒再生砥石、原材料 【金属くず】破碎・選別⇒原材料		

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・ 公害防止統括者
モータ事業部 事業部長
- ・ 公害防止統括者代理者
湖西製作所 所長
- ・ 産業廃棄物処理責任者 湖西製作所 所長
- ・ 特別管理産業廃棄物管理責任者
安全衛生環境部 サイト事業G室 湖西安全衛生環境課 担当
- ・ 産業廃棄物中間処理施設技術管理者 湖西オペレーションセンター 担当

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	汚泥（泥状のもの）	2,608.714 t
	廃プラスチック類	746.900 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組) 【汚泥】濃縮汚泥 ⇒脱水、乾燥 【廃プラスチック】工程内リサイクルの推進・製品箱の売却化	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	排出量
	汚泥（泥状のもの）	2,600.000 t
	廃プラスチック類	740.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t

④計画		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(今後実施する予定の取組) 【汚泥】濃縮汚泥 ⇒脱水、乾燥 【廃プラスチック】工程内リサイクルの推進・製品箱の売却化	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・全ての廃棄物に関し、リサイクルし易い分別を展開	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の分別を継続する	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
	②計画	【目標】
産業廃棄物の種類		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量

①現状	汚泥（泥状のもの）	0.000 t	2,536.610 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
<p>（これまでに実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・濃縮汚泥 ⇒ 脱水、乾燥 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量
	汚泥（泥状のもの）	0.000 t	2,536.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の減量化を継続する 		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 5 年度）実績】	
------------------	--

①現状

産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
汚泥（泥状のもの）	72.104	71.224	0.880	0.000	72.104
廃油	47.366	43.745	3.622	0.000	47.366
廃アルカリ	0.090	0.090	0.000	0.000	0.090
廃酸	9.920	9.920	0.000	0.000	9.920
廃プラスチック類	77.410	746.900	0.000	0.000	746.900
木くず	0.000	19.030	0.000	0.000	19.030
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	23.200	23.360	0.000	0.000	23.360
金属くず	0.000	31.282	0.000	0.000	31.282
（これまでに実施した取組） ・汚泥 ⇒ 脱水、乾燥による減量化 ・廃プラ⇒ 工程内リサイクル・製品箱の売却化					

		【目標】				
産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量					
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)	
汚泥（泥状のもの）	72.000	71.000	0.800	0.000	72.000	
廃油	47.000	43.000	3.000	0.000	47.000	
廃アルカリ	0.090	0.090	0.000	0.000	0.090	
廃酸	9.000	9.000	0.000	0.000	9.000	
廃プラスチック類	70.000	740.000	0.000	0.000	740.000	
木くず	0.000	19.000	0.000	0.000	19.000	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	23.000	23.000	0.000	0.000	23.000	
金属くず	0.000	31.000	0.000	0.000	31.000	
(今後実施する予定の取組) ・現状の減量化を継続する						
②計画						
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。